



主体的に学ぶ ～勇気と責任感を持って～

梅雨の季節を迎えました。戸隠分校を囲む木々の緑はいつそう濃くなり、農場で栽培している作物は日ごと成長をみせています。

6月は、春季体育大会が開催されて戸隠分校全体が一つにまとまるとともに、LHR時の各講話では貴重な学びができました。

ところで、「学ぶ」ということは、あくまでも主体的であるべきです。自己の成長のため、充実した人生のために学びは行わなければなりません。

「主体性」とは次のように定義されています。

「自分の意志・判断によって、みずから責任をもって行動する態度や性質。」(三省堂 大辞林 第三版)

また、『7つの習慣』の著書スティーブン・R・コピアーは、主体性について次のように述べています。

「主体性とは、自発的に率先して行動するだけのことを意味するのではない。人間として、自分の人生の責任を引き受けることも意味する。」(スティーブン・R・コピアー『7つの習慣』)

それに対して、「自主性」とは次のように定義されています。

「自分の判断で行動する態度。」(三省堂 大辞林 第三版)

つまり、「主体性」は自分の意志でやることを決め、自分の責任で行うことであり、「自主性」は指示されたことや、やるべきことが明確に分かっていることを積極的に行うことです。つまり、「主体性」とは、現状を分析し行動を起こすなかで、そこから新たな価値を生み出すことを意味するのです。

それだけに、主体的な行動を起こすには、「勇気」と、「責任感」が求められてきます。自己の成長や、充実した人生を、誰もが願うのであれば、「勇気」と「責任感」をもって、主体的な学びを目指すべきでしょう。



進路講話



LHRの時間を使い、全校生徒向けに進路講話が開催されました。就職活動のスケジュールや求人票の見方、働く目的、物事の本質などについて、ハローワークの担当の方においでいただきお話を聴きました。生徒たちはみな真剣に聴いていました。3年生はその後、希望進路にかかわらず、全員個別に面談していただきました。



性被害防止教育

LHRの時間に、「性被害防止教育」を開催しました。講師は、「県警スクールサポーター」の方をお招きし、講話をお聴きしました。

<講話内容>

- インターネット利用上の危険性
- 現状・実例に学ぶ性被害防止
- 自分を大切にすること
- 困った時の相談先

インターネットやスマートフォンは、生活上便利なアイテムです。調べたいこと、音楽を聴く、画像を見てみたいなど。しかし、間違った使い方や、「自分は大丈夫だから」「少しなら」と、その安易な気持ちや行動から、とんでもない事件が起きている場合があります。県警スクールサポーターさんから、実際に起きた事例をお話いただきました。生徒たちは真剣に講話を聴いていました。



AED講習会

日本赤十字社から講師をお招きし、AED講習が開かれました。「人を助けるのも大変だと思いました」という感想が聞かれたとおり、人命救助は簡単なことではないけれどすごく大事だということ学びました。最後に生徒代表からお礼の挨拶がありました。立派でした。



春季体育大会

春季体育大会が、ソフトバレーを競技種目として開催されました。戸隠分校では、チーム編成は学年をまたいで行われます。1年生から3年生までが同じチームとなり、お互いにカバーし合い声を出し合ってボールをつないでいました。今年は、職員チームも参加をして大会を盛り上げました。一つのボールをつなぎ合うことで、戸隠分校全員の気持ちが一つになる、充実した大会となりました。



<生徒の感想>

私は、今回の体育大会を通して、学年関係なく、さらに距離が縮まったと思います。中学校の時とは違う縦割りのチームだったのもありますが、試合中の声かけのおかげで皆との距離が縮まった気がします。次の体育はバレーボールではありませんが、今回声かけの大事さを知ったので、次に活かしたいです。

体育大会と聞くと、最初は抵抗を覚えた。過去の体育の授業（中学校時代）を振り返ると、嫌な思い出ばかりだったからだ。しかし、戸隠分校に入ってから体育では、少人数であったことから、積極的に取り組むようになった。サーブミスをして、仲間が「ドンマイ」と声をかけてくれたり、練習試合で、自分のアタックにより点をゲット。自信がつき、ついに大会当日を迎えた。多少のミスはあったものの、上位入賞。一生懸命にやることは大事だと、改めて気づいた。